

# グローバル・リーダーの新たな評価指標（GPAT）の開発

大阪教育大学附属高等学校平野校舎SGH評価開発チーム  
宇野公貴 武部俊輔 熊原真史 中島正樹 法用邦義 福好功伸 松田雅彦 堀川理介

## 概要

グローバル人材に必要な資質能力の測定、並びにカリキュラム改善に資するため、大阪教育大学アセスメントグループと協働しGPAT（Global Person Assessment Test）を独自に作成した。また、その妥当性評価も行った。

## 1. 経緯

- ① **グローバルリーダーの育成に必要な資質能力の検討**  
(a) PROGテスト\*によりグローバル人材と生徒のスコアを比較  
(b) 教員対象のアンケート調査やヒアリングの結果を分析



- ② **育成すべき「4つの資質能力」の決定**  
(a) においてグローバル人材との差が大きいもの  
(b) において教員が共通して重要と考えるものを抽出



- ③ **4つの資質能力の変容を測定する方法の必要性**

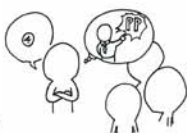
### GPATの作成へ

\*PROGテスト：河合塾と(株)リアセック社が共同開発したジェネリックスキルの向上を支援するアセスメントテスト。社会で求められる汎用的な能力・態度・志向（=ジェネリックスキル）を測定することができる

## 3. 問題例

あなたは課題研究班のリーダーを務めています。

最終発表会までの1ヶ月を切りましたがパワーポイントのスライドをまだ作成しておらず、先生に2週間後に提出するよう求められています。絵は、あなたが今後どのように研究を進めていくかを班のメンバーと話している場面です。あなたが一番話しそうなものを1つ選びなさい。



- ① 皆で分担してスライド作っていきよう。それを合わせたらできるよね。
- ② 提出まで2週間しかないけど、もう少し研究深めていきよう。スライドづくりはその後にしよう。
- ③ スライドは私が作るよ。でも研究の話も進めないといけないから皆も考えておいてね。
- ④ とりあえずスライドは皆に任せるよ。私は発表内容を考えておくからね。
- ⑤ スライドづくりは誰か取り掛かってくれる。並行して私もスライドに使えるようなアイデアを考えるよ。

表1 「PROGテスト」と「GPAT」のスコア比較

PROG-H 調査		GPAT (4つの力)		
リテラシー	情報収集力	0.341	課題解決力	
	情報分析力	0.316	課題解決力	
	課題発見力	0.309	課題解決力	
	構想力	0.305	課題解決力	
コンピテンシー	対人基礎力 0.233	親和力	0.084	コミュニケーション力
		協働力	0.237	コミュニケーション力
	対自己基礎力 0.237	統率力		
		感情制御力	0.109	セルフマネジメント力
		自信創出力	0.305	セルフマネジメント力
		行動持続力		
	対課題基礎力 0.075	課題発見力	0.293	課題解決力
		計画立案力	-0.018	課題解決力
	実践力			

図1 「海外短期留学経験生徒」と「未経験生徒」の資質能力別の平均点比較

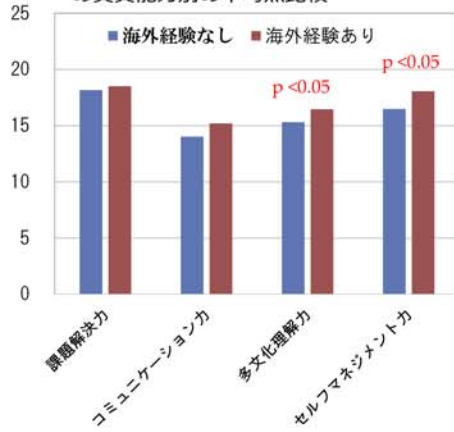
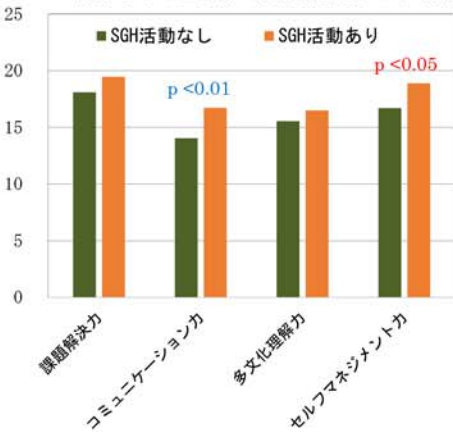


図2 「校外の研究発表会等に参加した生徒」と「活動なしの生徒」の資質能力別の平均点比較



## 2. 特徴

- ① 本来なら実際の行動を記録し評価する「コミュニケーション力」「セルフマネジメント力」等の「4つの資質能力」を紙面による選択形式の問題で測定
- ② 全ての選択肢が正答となり得る設定と、モデル人物による回答傾向をもとに選択肢の配点を決定することで虚偽回答によるスコアの誤差の減少をはかる
- ③ 直接的にSGHカリキュラムの成果を評価が可能

### 問題作成と配点

- ① 高校生が回答しやすい場面設定となるよう平野校舎の教員が問題を作成
- ② モデル解答としてグローバルに活躍する企業関係者等35名から回答を得て、各選択肢の傾斜配点を決定

例：5つの選択肢 a～e について、35人のモデル解答の分布が a (22人) b (8人) c (2人) d (2人) e (1人) の場合、  
・ a … 最多であるので 5点 (満点)  
・ b …  $5 \times 8 / 22 = 1.8$  点  
・ c …  $5 \times 2 / 22 = 0.5$  点 とする。

## 4. 問題・配点の妥当性の検証

以下のスコア比較から妥当性を検証

- ① **PROGテスト、GPAT、模擬試験の相関の検討**  
◆ PROGテスト（リテラシー）と模擬試験は弱い相関があったが、PROGテスト（コンピテンシー）及びGPATと模擬試験は相関がなかった。学力の影響は受けない
- ② **PROGテストとGPATのスコア比較**  
◆ 各テストの同分野の問題のスコアを比較。相関係数から妥当性が確認できた（表1）
- ③ **「海外短期留学経験生徒71名」と「未経験生徒157名」のスコア比較**
- ④ **「校外の研究発表会等に参加した生徒30名」と「その他の生徒198名」のスコア比較**  
◆ いずれも多文化理解力、セルフマネジメント力、コミュニケーション力で有意差が確認できた（図1、2）